

医療、教育で連携

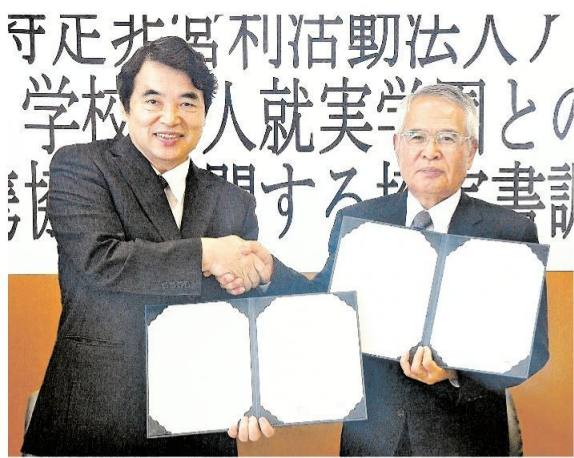
就実学園とAMDA協定

就実大（岡山市中区）でのインターンシップ、同学園の千葉喬三（西川原）などを運営する就実学園（同所）と討していく。

国際医療ボランティアAMDA（同市北区伊福町）は29日、医療・福祉や教育といった分野で連携する協定を結んだ。東日本大震災で薬剤師が不足した経験を踏まえ、国内外の大規模災害時に同大薬学部

の教授らを派遣することなどを想定している。

教育学部の学生による被災地の教育支援、学生・生徒のAMDA



協定書を手に握手を交わす千葉理事長（右）と菅波代表

理事長は「ボランティアの経験を教育に生かしたい」と期待。菅波代表は「連携して南海トラフ地震に備えた態勢を整えたい」と述べた。高校と就実中・高の吹奏楽部が交流しており、協力関係をさらに

広げようとした。AMDAが県内の大学などと連携協定を結ぶのは岡山大、県立大に続いて3例目。

（長田憲司）